

## 5 教育普及

### (1) 通年講座・教室

#### ア 考古学専門講座

熊本市内の遺跡の立地の理由を、博物館展示遺物と現地踏査で探る通年講座で、時代ごとに実施した。

| 日付    | 内容                    | 参加者 |
|-------|-----------------------|-----|
| 5.27  | 中止                    | —   |
| 6.25  | 中止                    | —   |
| 7.30  | 中止                    | —   |
| 8.27  | 通論考古学を読む<br>(前年度未実施分) | 13名 |
| 9.24  | 縄文時代の遺跡               | 13名 |
| 10.29 | 弥生時代の遺跡               | 13名 |
| 11.26 | 古墳時代の遺跡               | 13名 |
| 12.17 | 古代の遺跡                 | 13名 |
| 1.28  | 中止                    | —   |
| 2.25  | 中止                    | —   |
| 3.18  | 中世の遺跡                 | 15名 |

また、考古学専門講座の一環として随時「発掘勉強会」を実施した。

|       |            |    |
|-------|------------|----|
| 11. 4 | 屋外石棺展示場の石畳 | 7名 |
| 11.17 | 屋外石棺展示場の石畳 | 4名 |

#### イ 民俗学講座

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、1回の参加者を20名以内とし、同じ講座内容を2回に分けて実施。民俗学の学史を中心とした内容の講座を行った。

一般成人を対象に計10回実施した。

| 日付    | 内容        | 参加者 |
|-------|-----------|-----|
| 8.12  | イントロダクション | 16名 |
| 8.12  | イントロダクション | 11名 |
| 9. 8  | 民俗学の黎明期   | 15名 |
| 9. 9  | 民俗学の黎明期   | 10名 |
| 10.13 | 柳田國男と地方学  | 17名 |
| 10.14 | 柳田國男と地方学  | 8名  |

|       |          |     |
|-------|----------|-----|
| 11.10 | 民俗学の実践者  | 16名 |
| 11.11 | 民俗学の実践者  | 9名  |
| 12. 8 | 宮本常一の民俗学 | 16名 |
| 12. 9 | 宮本常一の民俗学 | 9名  |

#### ウ 地質学講座

化石・岩石・鉱物など、熊本博物館の地質資料や熊本の大地に関する通年講座。

小学6年生から一般成人を対象に、隔月で全6回の実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4回の実施となった。

| 日付    | 内容           | 参加者 |
|-------|--------------|-----|
| 4. 9  | 中止           | —   |
| 6.28  | 熊本市内の地質      | 10名 |
| 9.28  | 火山噴火の災害      | 11名 |
| 12. 6 | 平成28年熊本地震    | 6名  |
| 2.14  | 中止           | —   |
| 3.21  | 「震災をふりかえる」見学 | 14名 |

#### エ 動物学講座

野外観察会や室内学習で、身近な動物の生態や形態などについて学ぶ、小学4年生以上を対象とした通年講座。当初、5月から3月までに全6回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4回の実施となった。

| 日付    | 内容                        | 参加者 |
|-------|---------------------------|-----|
| 7.11  | 動物の多様性(講堂)                | 13名 |
| 9.19  | 野外観察会(上江津湖)               | 19名 |
| 11.14 | 野外観察会(立田山)                | 20名 |
| 1.23  | 野外観察会(下江津湖)               | —   |
| 3.20  | 野外で出会う危険な動物・魚類3種の解剖比較(講堂) | 21名 |

#### オ 植物学講座

野外観察会や室内学習を通して、身近な植物に親しみ、興味・関心を高めることを目的とした通年講座。当初、4月から12月までに全6回を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止

していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、日程を変更して計3回の実施となった。

| 日付     | 内 容      | 参加者 |
|--------|----------|-----|
| 4. 18  | 中止       | —   |
| 6. 18  | 中止       | —   |
| 8. 8   | 中止       | —   |
| 9. 18  | 季節の植物（秋） | 9名  |
| 11. 27 | どんぐりと紅葉  | 9名  |
| 1. 15  | 中止       | —   |
| 3. 12  | 季節の植物（春） | 11名 |

## カ 子ども科学・ものづくり教室

### （ア）実施の経緯

熊本博物館は開館以来、自然・文化・歴史資料などの保存・継承と、それらの価値や魅力を発信する拠点としての役割を果たしてきた。

これに加え、現在は多様化する人々のニーズに応じた学習活動の支援をはじめ、多面的な機能を発揮することが求められるようになってきた。

そのような中、当館では青少年が楽しく活動しながら自然科学の原理や技術（歴史や伝統文化に関する内容も一部含む）を体験的に学ぶことのできる機会を提供する目的で、平成11年度より「子ども科学・ものづくり教室」を開催している。

### （イ）令和2年度（2020年度）の取組

平成30年（2018年）12月1日のリニューアルオープン以来、当館に新設された「実験・工作室」と「講堂」を主会場に、南区城南町にある姉妹館：熊本市塚原歴史民俗資料館（以下、「塚原歴史民俗資料館」）も利用しながら年間25～30回程度の教室を行っている。

令和2年（2020年）2月末日から令和2年（2020年）5月20日まで、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に伴う措置で臨時休館。再開後は定員規模を縮小した事前申込制で行ったため、令和2年度（2020年度）は全23回、参加者総数は約693名と大幅に減少した（令和元年度は全28回：2067名）。

内容は、理工分野に関する科学実験や科学工作が中心であるが、考古・植物・地質分野に関する内容も担当学芸員に依頼して数回ずつ行った。

例年と同じく、技術的に細やかな支援が必要となる教室においては任意の教育団体である熊本市ものづくりサークル会員に実技補助や運営面での協力をお願いした。昨年度に実施した高等専門学校との連携事業は感染症対策のため中止となったが、3月には崇城大学との共催イベントを企画し、教室内容の充実を図った。

(ウ) 実施内容

◎ おもしろ実験・工作に挑戦!

光の全反射やベルヌーイの定理、摩擦の力と角運動量の保存に関連する実験・工作、バネの動きを利用した「バネバネ・キツツキ」、紙で作る「ペーパーズプリング」の製作体験コーナーなど、5ブースを開設した。

臨時休館が明けた「最初の教室」であったが、まだ自粛意識が高く、少人数での開催となった。

日 時 ① 6月13日(土)

② 7月25日(土)

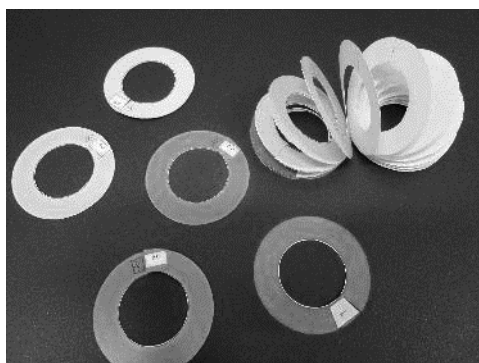
13時30分～15時30分

場 所 ① 塚原歴史民俗資料館

② 博物館「講堂」「実験・工作室」

指導者 山口 均(理工)

参加者 ① 4名 ② 36名



ペーパーズプリング

◎ 箱の中に虹を作ろう

自然光の構成やスリットを介した分光の仕組みについて学ぶもの。

分光シートは1辺2cmあたり：5000本の筋が縦横に刻まれた仕様のものを用いた。分光シートを目に近づけ、自作のスリットを蛍光灯などの光源に向けると(太陽を直接見えてはいけない等の注意点を伝える)、切り抜いたスリットの形がそのまま美しい虹色のスペクトルとなる。

日 時 ① 6月27日(土)

② 11月7日(土)

13時30分～15時30分

場 所 ① 博物館「実験・工作室」

② 塚原歴史民俗資料館

指導者 山口 均(理工)

参加者 ① 21名 ② 9名



虹の箱(各種)

◎ 水中UFOキャッチャーを作ろう

浮力について体験的に学ぶことのできる楽しい内容。水を満たした炭酸系のペットボトル(500mL)に、水と空気の量を調節した金属フック付きの浮沈子(魚型たれビン)を入れる。ふたを締めてペットボトルに力を加えると浮沈子の容積が小さくなるため浮力も小さくなって沈む。

日 時 ① 7月11日(土)

② 8月23日(日)

13時30分～15時

場 所 ① 塚原歴史民俗資料館

② 博物館「実験・工作室」

指導者 山口 均(理工)

参加者 ① 16名 ② 24名



水中UFOキャッチャー

◎ 宙返りバードを作ろう

翼の形や傾きが生み出す「揚力」について体験的に学ぶことのできる教室。壁や畳などの断熱材

として使われているスタイロフォームを電熱線カッターで1mm程度の厚さにスライスしておく。それを定型に切り取って鳥の形に組み立て、頭部に厚紙のおもりを接着すると完成。

日時 ① 7月18日(土)

② 3月6日(土)

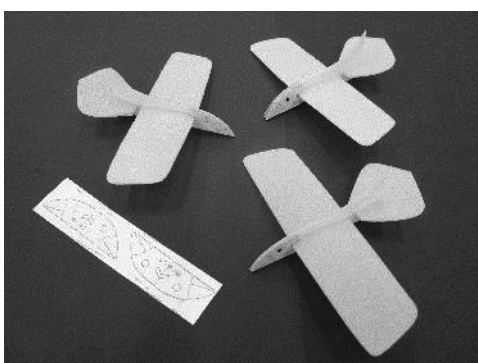
13時30分～15時

場所 ① 博物館「実験・工作室」

② 塚原歴史民俗資料館

指導者 山口 均(理工)

参加者 ① 22名 ② 6名



宇宙返りバード

### ◎ コイルモーターを作ろう

磁界と電流(電荷)の相互作用によって生じる力(フレミングの左手の法則)について学ぶもの。

コイルの形を円形に保持したり、エナメル線の巻き始め・巻き終わりを紙やすりで剥がしたりする作業が難しいため、製作補助具を工夫して技術面での支援を行っている。

モーターが回転を始めた瞬間の、驚きと喜びに満ちた表情が印象的。

日時 ① 8月1日(土)

② 9月26日(土)

13時30分～15時

場所 ① 塚原歴史民俗資料館

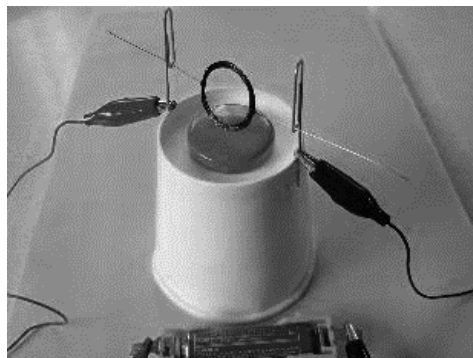
② 博物館「実験・工作室」

指導者 山口 均(理工)

協力者 ものづくりサークル会員

② 3名(1回目は要請せず)

参加者 ① 16名 ② 20名



コイルモーター

### ◎ 液体窒素実験ショー

地質担当学芸員による液体窒素実験ショーは、温度による物質の三態変化と体積変化を利用した驚きの実験・現象の数々を披露するもの。

バラバラになる「薔薇」、弾まないゴムボール、液体窒素燃料ロケット、フライパンの中で踊る液体窒素(ライデンフロスト現象)など、超低温の液体窒素が織り成す不思議な世界をお見せした。

日時 ① 8月8日(土)

② 同30日(日)

(1)13時15分～

(2)14時30分～

(3)15時45分～(各回20分)

場所 ① 博物館「講堂」

② 塚原歴史民俗資料館

指導者 南部 靖幸(地質)

山口 均(理工)

参加者 ① 53名 ② 61名



液体窒素実験ショー

### ◎ 大気圧と真空の実験ショー

「空気」と「真空」をテーマに、気圧差によって生じる様々な現象を展開する定番のショー。

お湯と容器を使った噴水実験や空き缶つぶし、真空ポンプを使った「膨らむ風船・水の減圧沸騰」などを披露した。普段は、その存在すら意識することの少ない「空気」ではあるが、ショーが進むにつれて空気の意外なパワーに気づいてもらえたように思う。

日 時 8月14日(金)

(1)11時30分～

(2)14時30分～

(3)15時45分～(各回25分)

場 所 博物館「講堂」

指導者 山口 均(理工)

参加者 55名



大気圧実験ショー

### ◎ 紙パックカメラを作ろう

レンズの働き、光の直進や屈折、虚像や実像について学ぶ科学工作で、カメラと目の仕組みの共通点についてもふれた。

1リットル紙パックと凸レンズを組み合わせて簡易カメラを製作し、感熱紙を用いた写真撮影も行った。スクリーン上に結ばれた像が上下左右、反転する現象も確認することができた。

日 時 9月12日(土)

13時30分～15時

場 所 博物館「実験・工作室」「屋外」

指導者 山口 均(理工)

協力者 ものづくりサークル会員：3名



紙パックカメラ

### ◎ 葉脈標本でしおりを作ろう

植物体の葉脈の種類や働きについて学ぶ内容。

用いるヒイラギとヒイラギモクセイの葉は、事前に強アルカリ性水溶液で20分間程度煮込み、冷却後にしっかりと水洗いして食酢で中和しておく。

子どもたちは歯ブラシを使い、軽く上から叩く動作を繰り返して葉から葉肉を剥ぎ落とし、水洗い・水きり・風乾後に葉脈をラミネート加工して「しおり」に仕立てた。

日 時 10月24日(土)

13時30分～14時30分

場 所 博物館「実験・工作室」

指導者 山口 瑞貴(植物)

山口 均(理工)

参加者 25名



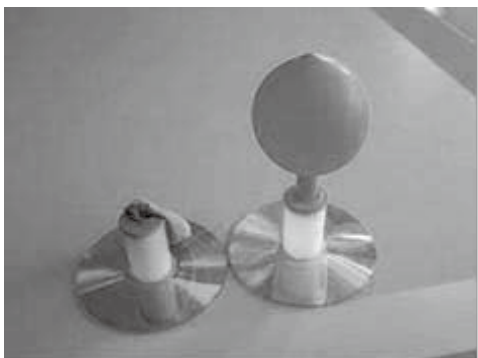
葉脈標本「しおり」

### ◎ CDホバークラフトを作ろう

小学校3年生の理科で、「風やゴムのはたらき」を学ぶが、その内容を「ものづくり」を通して改めて理解するのに役立つ。CDホバークラフトの製作中には空気を吹き出しながら接地面の摩擦を

抑えて進む様子から「慣性の法則」にまで話題を広げることができる。

日 時 11月22日(日)  
13時30分～14時30分  
場 所 博物館「実験・工作室」  
指導者 山口 均(理工)  
参加者 26名



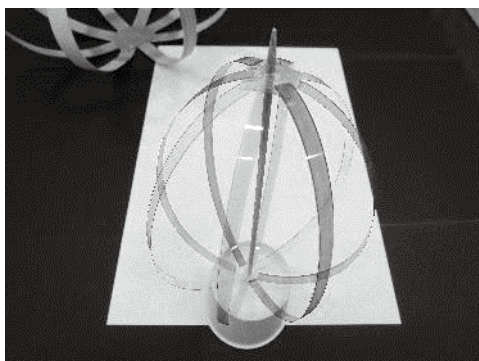
CDホバークラフト

### ◎ くるくる回るシャボン玉を作ろう

光(と色)の三原色、残像の重なり、遠心力の働きなどについて学ぶ科学工作。

光の三原色をモデル的に表した赤・緑・青色の着色シート(OHPシート:6mm幅)と色を塗らない無色透明のシートを各2枚ずつ、合計8枚をボール状に組み立て、中心に通した竹軸をゆっくり回すと本物のシャボン玉のように見える。

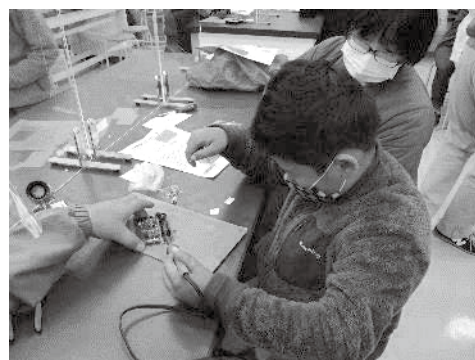
日 時 11月28日(土)  
13時30分～15時  
場 所 博物館「実験・工作室」  
指導者 山口 均(理工)  
協力者 ものづくりサークル会員:2名  
参加者 20名



### ◎ 電波教室&ラジオ作り

身近にある様々な電波の特性や送受信の仕組み等について学んだあと、電子工作としてキットを使ったラジオ製作に取り組んだ。製作後は全員が屋外に出て電波中継局がある西側の山(金峰山)にラジオを向け、ダイヤルを回す。すると、イヤホン越しに音声が聞こえ、同時に喜びの歓声が上がった。親子で大満足の様子だった。

日 時 12月13日(日)  
13時30分～15時30分  
場 所 博物館「講堂」「実験・工作室」  
指導者 日本アマチュア無線連盟熊本県支部員及び、熊本県電波適正利用推進員協議会員:全8名  
参加者 24名



ラジオ製作の様子

### ◎ 静電気実験ショー

摩擦電気とも呼ばれる静電気の斥力や引力等を利用した実験ショー。ペンシルバルーンをティッシュで擦ってマイナスに帯電させ、横たえた空き缶に近づけて動かす「空き缶のお散歩」に始まり、バンデグラフを使った火花放電や蛍光灯の点灯まで、複数の実験や現象を披露した。

日 時 12月26日(土)  
(1)11時30分～  
(2)13時30分～  
(3)14時30分～(各回25分)  
場 所 博物館「講堂」  
指導者 山口 均(理工)  
参加者 41名



静電気実験ショーの様子

◎ 銅鏡のレプリカを作ろう

銅鏡の製造技法について体験しながら、学習する内容。銅鏡の鋳型に融かした低融点合金を流し込み、レプリカ作りを行った。鏡面の部分を耐水ペーパーで磨く作業に苦戦しながらも楽しんでいた。

日時 2月27日(土)

(1)10時～11時

(2)15時～16時

場所 博物館「実験・工作室」

指導者 坂本 直也(保存科学)

山口 均(理工)

参加者 38名



銅鏡のレプリカ

◎ 活性炭電池を作ろう

電池の仕組みと働きについて学ぶ内容。コイン電池や木炭電池などを通して電池は身近な材料でも簡単に作れることを実演して見せた。また、基本的な構造は2種類の金属と電解溶液の組み合わせであることや前年度ノーベル化学賞で話題とな

ったリチウムイオン電池についても少しふれた。

作り方を説明した後で一人2個ずつ活性炭電池を作り、直列つなぎにするとパワーアップすることを電子オルゴールの音量やモーターの回転速度の違いで確かめた。

日時 2月28日(日)

(1)10時～11時

(2)15時～16時

場所 博物館「実験・工作室」

指導者 山口 均(理工)

参加者 44名



活性炭電池製作の様子

◎ 春の体験ミュージアム：科学のひろば2021

昨年度、7年ぶりに再開を予定していたものの、感染症対策のための臨時休館で中止となった崇城大学との共催イベント。

「色で遊ぼう！化学しよう」「光るムシのナゾ」など、4つのブースを開設した。化学発光物質や温度によって色が変化する物質の不思議にふれ、参加者は科学(化学)の世界の一端を楽しんでいた。

日時 3月13日(土)

(1)13時～13時50分

(2)14時～14時50分

(3)15時～15時50分

場所 博物館「講堂」「実験・工作室」

指導者 崇城大学教職員及び学生：全14名

協力者 ものづくりサークル会員：5名

参加者 88名



科学のひろば 2021 の様子

◎ 紫キャベツ紙でカラフルお絵かき

紫(レッド)キャベツの色素(アントシアニン)を煮出し、ろ紙に染み込ませて紫色のマジカルペーパーを作った。身近な果汁や水で薄めた液体洗剤等を絵具にして綿棒に浸し、マジカルペーパーの上に塗るとカラフルな絵が描けるので、体験した子どもたちはとても喜んでいました。

リトマス紙ではなく、自作の紫キャベツ紙でも水溶液の性質(酸性・中性・アルカリ性)を調べることができるので理科学習にもお勧めである。

日 時 3月27日(土)

(1)10時~11時

(2)13時30分~14時30分

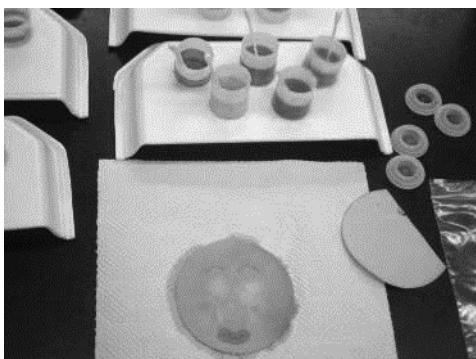
(3)15時~16時

場 所 博物館「実験・工作室」

指導者 山口 均(理工)

協力者 ものづくりサークル会員:4名

参加者 22名



マジカルペーパーでお絵描き



## (2) 学校教育支援事業

「ゲストティーチャー派遣授業」及び  
「館内学習支援活動」

### ア 実施の経緯

社会教育・生涯学習の拠点施設である博物館と学校との連携（博学連携）については、その必要性・重要性が以前にも増して高まってきた。そのような状況をふまえ、これまでに行ってきた様々な教育普及活動の中で学校教育に関わる部分を強化すべく、教材として価値のある収蔵資料と学芸員の知識や技能を授業の中で有効活用するため「ゲストティーチャー派遣授業」を行っている。

また、館内展示物や収蔵資料を学習活動に活かすため、平成28年度には市内の小中学校の教職員（全：8名）を研究協力員に委嘱し、学芸員との協働による「館内学習支援プログラム」の「原案作り」に着手。平成29年度は、その原案に編集・校正作業を加えて冊子化し、年度内に熊本市内：全小中学校への配布を済ませた。そして、平成30年12月1日のリニューアルオープン以降、平成31年（2019年）1月より館内学習支援活動も試行的に実践を始めた。

令和元年度（2019年度）は、「ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）」と「館内学習支援活動（お迎え事業）」の両輪が本格稼働する年となり、令和2年度（2020年度）も学校教育支援と博学連携の更なる充実を目指し、実践を通して事業改善に努めている。

### イ 令和2年度（2020年度）の取組

平成26年度から翌年度にかけては「学校教育支援事業モデル校2校（小学校）」に絞って派遣授業を行ったが、平成28年度からは（熊本地震後の2学期より）主な対象校を市内全域の小中学校（92校）に拡げ、学校側からの要請に応じて可能な範囲で事業を展開することにした。

派遣授業（お出かけ事業）の内容については、平

成27年度中に「派遣授業 学習プログラム集2016」を作成し、市内全ての小中学校（約140校）に配布して周知を図った。そして、館内学習支援活動（お迎え事業）については、前述のとおり平成29年度末に「館内学習プログラム集（全50題材：120頁）」を作成・配布し、リニューアルオープン後の実施に備えた。

熊本市が採択した令和2年度小学校社会科教科書の変更に伴い、本年度中に「派遣授業 学習プログラム集」を改訂し、市内全ての小中学校に2冊ずつ再配布したところである。次年度（2021年度）は、中学校の採択教科書に合わせ、「館内学習プログラム集（第2版）」も改訂作業を予定しているため、その準備も行っている。

令和元年度の「派遣授業」は延べ9校：22時間、「館内学習」は市内の小中学校だけでなく市外からの要請もあり全16校：延べ24プログラムの実施となった。令和2年度は「派遣授業」が延べ15校：25時間（内、試行的に取り組んだZoomによる遠隔授業が延べ6時間）、「館内学習」は26校：延べ33プログラムの実施となった。館内学習支援活動においては、プログラム集で紹介している学習シートだけでなく、冊子内には掲載していない写真資料や実物資料も交えながら担当学芸員が興味深い解説を行うため、プログラムを体験した子どもたちは意欲的に学習に取り組んでいた。

また、2年目の取組となる「熊本博物館⇄スクールシャトルバス事業（当館から比較的遠方に位置する小学校12校を無料で招待する事業で、本年度はコロナ禍の影響で3校が見送り、参加は9校）」の際にも「館内学習」を行っており、アンケート集計結果によると、「また来年もシャトルバス事業を利用したい・博物館で学習したい」と回答した教職員・児童の割合は、ほぼ100%に近かった。ちなみに、令和3年度も本事業は継続の予定であり、アンケートで寄せられた要望等をふまえ、今後も事業改善を図っていきたい。

ウ ゲストティーチャー派遣授業（お出かけ事業）【15校：25時間】（Zoom授業で実施：Z印）

| 実施日            | 学 校  | 学年 | 教科等        | タイトル                        | 担当者<br>(分野)                   | 児童数  | 時間数 |
|----------------|------|----|------------|-----------------------------|-------------------------------|------|-----|
| 7月28日          | 山東小  | 全  | 生活科<br>総合※ | 身近な生きもの（講話）<br>（※総合的な学習の時間） | 清水 稔<br>（動物）                  | 166名 | 1時間 |
| 7月29日          | 弓削小  | 4年 | 理科         | 空気と水の性質                     | 山口 均<br>（理工）                  | 57名  | 2時間 |
| 9月29日          | 山ノ内小 | 高  | クラブ        | カラフルアンモナイト                  | 南部 靖幸<br>（地質）                 | 20名  | 1時間 |
| 10月 3日         | 湖東中  | 2年 | 総合         | 江津湖の自然（湧水・生物）               | 清水 稔<br>（動物）<br>南部 靖幸<br>（地質） | 138名 | 2時間 |
| 10月23日         | 山東小  | 1年 | 生活科        | 秋をさがそう（Z）                   | 山口 瑞貴<br>（植物）                 | 20名  | 1時間 |
| 11月 9日         | 山東小  | 2年 | 国語         | ビーバーの大工事（Z）                 | 清水 稔<br>（動物）                  | 27名  | 1時間 |
| 12月 7日         | 山東小  | 6年 | 社会科        | 火縄銃の伝来（Z）                   | 木山 貴満<br>（歴史）                 | 28名  | 1時間 |
| 12月14日<br>～16日 | 山ノ内小 | 4年 | 理科         | ものの温度と体積、ほか                 | 山口 均<br>（理工）                  | 100名 | 3時間 |
| 令和3年<br>2月 1日  | 山東小  | 3年 | 社会科        | 昔の生活と道具（Z）                  | 福西 大輔<br>（民俗）                 | 25名  | 1時間 |
| 2月 1日          | 山東小  | 5年 | 社会科        | 自然災害を防ぐ（Z）                  | 南部 靖幸<br>（地質）                 | 32名  | 1時間 |
| 2月 1日          | 山東小  | 6年 | 理科         | 火山活動や地震による<br>土地の変化（Z）      | 南部 靖幸<br>（地質）                 | 32名  | 1時間 |
| 2月25日          | 砂取小  | 6年 | 社会科        | 全国統一への動き                    | 木山 貴満<br>（歴史）                 | 74名  | 2時間 |
| 3月 3日          | 砂取小  | 6年 | 理科         | 土地のつくりと変化                   | 南部 靖幸<br>（地質）                 | 74名  | 2時間 |
| 3月 9日          | 山ノ内小 | 5年 | 理科         | 電磁石の働き                      | 山口 均<br>（理工）                  | 103名 | 3時間 |
| 3月15日          | 山ノ内小 | 6年 | 理科         | 身近な自然環境と私たち                 | 清水 稔<br>（動物）                  | 111名 | 3時間 |



（左）Zoom授業の様子

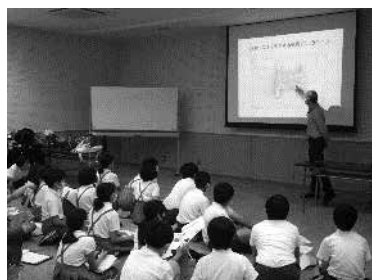
派遣授業の様子（右）



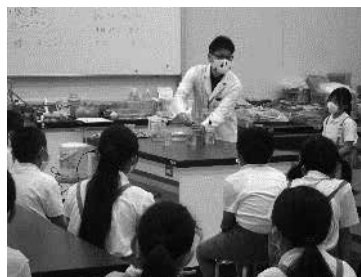
エ 館内学習支援活動（お迎え事業）【26校：33プログラム】

| 学 校           | 学年       | 教科等        | タ イ ト ル                     | 実施日    | 時 間  | 担当者<br>(分野)                    | 児童数  |
|---------------|----------|------------|-----------------------------|--------|------|--------------------------------|------|
| 山 東 小         | 1年       | 生活科        | 身のまわりの生きもの                  | 9月17日  | 30分  | 清水 稔<br>(動物)                   | 20名  |
| 一 新 小         | 5年       | 理 科<br>社会科 | 空気と水を使った実験各種<br>田植え道具の工夫と農業 | 9月25日  | 30分  | 山口 均<br>(理工)<br>福西 大輔<br>(民俗)  | 70名  |
| 北 部 中         | 全        | 総 合        | くまはくのSDGsは？                 | 9月30日  | 120分 | 学芸班<br>※質疑応答                   | 250名 |
| 山 本 小         | 3年<br>4年 | 社会科<br>理 科 | 昔の道具と人々の知恵<br>ものの温度と体積      | 10月 1日 | 30分  | 福西 大輔<br>(民俗)<br>山口 均<br>(理工)  | 35名  |
| 御船町立<br>七 滝 小 | 3年       | 社会科        | くらしと地域の行事                   | 10月 6日 | 30分  | 福西 大輔<br>(民俗)                  | 13名  |
| 五 福 小         | 5年       | 理 科<br>社会科 | これを食べたの一体だれ？<br>田植え道具の工夫と農業 | 10月 7日 | 30分  | 清水 稔<br>(動物)<br>福西 大輔<br>(民俗)  | 48名  |
| 山 東 小         | 4年       | 理 科        | ものの温度と体積                    | 10月20日 | 30分  | 山口 均<br>(理工)                   | 34名  |
| 壺 川 小         | 2年       | 生活科        | 身のまわりの生きもの                  | 10月21日 | 30分  | 清水 稔<br>(動物)                   | 62名  |
| 川 尻 小         | 3年       | 社会科        | 昔の道具と人々の知恵                  | 10月28日 | 30分  | 福西 大輔<br>(民俗)                  | 80名  |
| 京 陵 中         | 1年       | 総 合        | 博物館の展示物                     | 10月30日 | 120分 | 学芸班<br>※質疑応答                   | 190名 |
| 隈 庄 小         | 4年       | 理 科        | クスノキのひみつ<br>(プラネタリウム室にて)    | 11月 4日 | 30分  | 山口 瑞貴<br>(植物)                  | 143名 |
| 錦ヶ丘中          | 1年       | 社会科<br>理 科 | 熊本城と加藤清正<br>身近に起こる液状化現象     | 11月 6日 | 30分  | 福西 大輔<br>(民俗)<br>南部 靖幸<br>(地質) | 140名 |
| 健軍東小          | 3年       | 社会科        | 昔の道具と人々の知恵                  | 11月12日 | 30分  | 福西 大輔<br>(民俗)                  | 48名  |
| 尾ノ上小          | 3年       | 社会科        | 昔の道具と人々の知恵                  | 11月17日 | 30分  | 福西 大輔<br>(民俗)                  | 112名 |

| 学 校   | 学年         | 教科等        | タ イ ト ル                     | 実施日                | 時 間  | 担当者<br>(分野)                    | 児童数  |
|-------|------------|------------|-----------------------------|--------------------|------|--------------------------------|------|
| 龍 田 小 | 2 年        | 生活科        | 身のまわりの生きもの                  | 11 月 18 日          | 30 分 | 清水 稔<br>(動物)                   | 19 名 |
| 田 原 小 | 4 年        | 社会科        | 伝統や文化を生かすまち<br>(小代焼など)      | 11 月 20 日          | 30 分 | 竹原 明理<br>(美術工芸)                | 15 名 |
| 日 吉 小 | 3 年        | 社会科<br>理 科 | 昔の道具と人々の知恵<br>植物について        | 11 月 20 日          | 30 分 | 福西 大輔<br>(民俗)<br>山口 瑞貴<br>(植物) | 52 名 |
| 山 東 小 | 2 年<br>3 年 | 生活科<br>社会科 | 身のまわりの生きもの<br>昔の道具と人々の知恵    | 11 月 27 日          | 30 分 | 清水 稔<br>(動物)<br>福西 大輔<br>(民俗)  | 51 名 |
| 麻生田小  | 特 支<br>全学年 | 総 合        | 科学工作を楽しもう                   | 12 月 16 日          | 45 分 | 山口 均<br>(理工)                   | 21 名 |
| 植 木 小 | 3 年        | 社会科        | 昔の道具と人々の知恵<br>(展示室での解説)     | 令和 3 年<br>1 月 22 日 | 30 分 | 福西 大輔<br>(民俗)<br>他、数名          | 61 名 |
| 菱 形 小 | 3 年        | 社会科        | 昔の道具と人々の知恵<br>(展示室での解説)     | 1 月 27 日           | 30 分 | 福西 大輔<br>(民俗)<br>他、数名          | 43 名 |
| 桜 井 小 | 3 年        | 総 合        | 熊本博物館の役割<br>(展示室での解説)       | 2 月 5 日            | 30 分 | 坂本 直也<br>(保存科学)<br>他、数名        | 50 名 |
| 吉 松 小 | 3 年        | 理 科<br>社会科 | 昆虫の体のつくり 他<br>(展示室での解説)     | 2 月 5 日            | 30 分 | 清水 稔<br>(動物)<br>他、数名           | 18 名 |
| 慶 徳 小 | 3 年        | 社会科        | 昔の道具と人々の知恵                  | 3 月 9 日            | 30 分 | 福西 大輔<br>(民俗)                  | 18 名 |
| 田 底 小 | 3 年<br>4 年 | 理 科<br>社会科 | 昆虫の体のつくり(展示室)<br>昔の道具と人々の知恵 | 3 月 12 日           | 30 分 | 清水 稔<br>(動物)<br>山口 均<br>(理工)   | 36 名 |
| 五 福 小 | 3 年        | 社会科        | 身近な生きものを調べよう<br>(展示室での解説)   | 3 月 18 日           | 30 分 | 山口 均<br>(理工)                   | 38 名 |



講堂での学習風景



実験・工作室での学習風景

オ 総合的な学習の時間（再掲）

| 学 校   | 学年 | タイトル          | 実施日    | 担当者<br>(分野)                   | 児童数  | 時間数 |
|-------|----|---------------|--------|-------------------------------|------|-----|
| 山 東 小 | 全  | 身近な生きもの（講話）   | 7月28日  | 清水 稔<br>(動物)                  | 166名 | 1時間 |
| 湖 東 中 | 2年 | 江津湖の自然（湧水・生物） | 10月3日  | 清水 稔<br>(動物)<br>南部 靖幸<br>(地質) | 138名 | 2時間 |
| 北 部 中 | 全  | くまはくのSDGsは？   | 9月30日  | 学芸班職員<br>※質疑応答                | 250名 | 2時間 |
| 京 陵 中 | 1年 | 博物館の展示物       | 10月30日 | 学芸班職員<br>※質疑応答                | 190名 | 2時間 |
| 麻生田小  | 特支 | 科学工作を楽しもう     | 12月16日 | 山口 均<br>(理工)                  | 21名  | 1時間 |
| 桜 井 小 | 3年 | 熊本博物館の役割（解説）  | 2月5日   | 坂本 直也<br>(保存科学)               | 50名  | 1時間 |

### (3) 講師派遣

| タイトル・内容                  | 期 日        | 時 間                      | 場 所                  | 担 当<br>(分野) | 人数  | 備 考 (主催等)            |
|--------------------------|------------|--------------------------|----------------------|-------------|-----|----------------------|
| 北部家庭教育学級<br>「科学工作教室」     | 8月 6日 (木)  | 10時～11時                  | 熊本博物館<br>「実験・工作室」    | 山口 均 (理工)   | 30名 | 北部公民館                |
| わくわくえづっ子塾<br>「江津湖の昆虫観察会」 | 9月 5日 (土)  | 10時～12時                  | 水前寺江津湖公園<br>広木地区     | 清水 稔 (動物)   | 20名 | 水前寺江津湖公園サー<br>ビスセンター |
| 液体窒素実験ショー                | 9月13日 (日)  | 10時30分～11時<br>11時30分～12時 | くまもと森都心プ<br>ラザ図書館    | 南部 靖幸(地質)   | 67名 | 森都心プラザ図書館            |
| 熊本市水の科学館<br>水辺散策会        | 9月13日 (日)  | 10時～11時30分<br>13時～14時30分 | 熊本市水の科学館<br>周辺       | 清水 稔 (動物)   | 16名 | 熊本市水の科学館             |
| アンモナイトの<br>レプリカづくり       | 9月29日 (火)  | 15時～16時                  | 山ノ内小学校<br>理科室        | 南部 靖幸(地質)   | 19名 | 山ノ内小学校<br>(クラブ活動)    |
| 熊本県地名研究会<br>「アマビエよもやま話」  | 11月 8日 (日) | 10時～12時                  | 県民交流会館<br>「くまもとパレア」  | 福西 大輔(民俗)   | 10名 | 熊本県地名研究会             |
| 白川わくわくランドイベント<br>「寺子屋」   | 12月 6日 (日) | 9時～12時                   | 白川<br>わくわくランド        | 山口 均 (理工)   | 22名 | 白川わくわくランド            |
| 聴覚障害者のための<br>生活文化講座      | 2月25日 (木)  | 14時～15時30分               | オンライン配信<br>(Z o o m) | 木山 貴満(歴史)   | 6名  | 熊本県聴覚障害者情報<br>提供センター |

#### (4) 教職員研修

##### ア 館内学習プログラム解説編

「活用資料の魅力や価値に迫る！」

学校教育支援事業で活用する「館内学習プログラム集」について、そのプログラム内で紹介している館内展示物等の資料の価値や魅力を各担当学芸員が教師向けに伝えた（座学と館内見学）。

日 時 8月24日（月）

① 9時～12時（人文系解説）

② 13時～16時（自然系解説）

参加者 ① 4名 ② 7名

##### イ 熊本県市中学校教育研究会理科部会夏季研修

着色した寒天を利用する「地層モデル」の製作を中心とした教材作成・実技研修を行った。そのほか、プラネタリウムを活用し、中学校で学ぶ天体学習の内容について紹介したり館内の地質系展示物の解説等を行ったりした。

日 時 8月3日（月）

9時～12時

参加者 研究会員（教職員）22名

#### (5) 博物館実習生の受け入れ

期 間 8月15日（土）～8月20日（木）

大 学 東京都立大学、八須学園大学、広島大学、山口大学、琉球大学 各1名、東京農業大学2名、崇城大学2名、熊本大学10名（計19名）

内 容

(8/15) オリエンテーション、館内見学、管理事務・設備概要

(8/16) 博学連携、イベント準備、来館者対応、プラネタリウム業務体験

(8/17～8/19)

【自然系】動物・植物・地質・天文・保存科学実習

【人文系】考古・歴史・美術工芸・民俗・保存科学・撮影・展示実習

(8/20) 展示課題発表

「感染症流行に伴う、休館中の地域博物館の活動について」

まとめ

#### (6) 職場体験・インターンシップ

高校生を対象に、プラネタリウム券売・受付、来館者案内、学芸業務体験等の機会を提供した。

（そのほか、屋外・室内環境整備活動等）

|                     |                       |    |
|---------------------|-----------------------|----|
| 7月13日（月）<br>～15日（水） | 熊本大学教育学部<br>特別支援学校高等部 | 1名 |
| 12月8日（火）<br>～10日（木） | 同上                    | 1名 |

#### (7) 大学等からの訪問

学生を対象に、博物館が担う社会的機能（展示、教育・普及、その他）を学ぶ機会を提供した。

##### ア 崇城大学

教員養成課程の学生に向けた、博物館業務の講義と館内見学、プラネタリウム見学。

日 時 7月11日（土） 9時～12時

##### イ 東海大学

観光ビジネス実習Aの授業の一環として、常設展示や企画展の館内見学。

日 時 6月29日（月） 9時～10時50分

##### ウ 熊本大学教育学部

地学基礎実験の授業の一環として、館内とプラネタリウムを見学。

日 時 10月2日（金） 15時～17時

## **(8) ホームページコンテンツ**

「博物館流 自然観察・科学工作のススメ」

新型コロナウイルス感染症の拡大防止（流行抑制）対策の一環として、人混みを避けながら家庭で手軽に実施できる「自然観察・科学工作」等の方法をホームページで発信し、イベント自粛・休校・休館期間中の学習支援を行った（学習意欲等の維持・向上に寄与する一方策として）。

令和2年（2020年）3月2日（月）より公開を始め、現在も継続している（適宜、更新中）。